

土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることによって起こる災害のことです。地震の揺れが直接的な原因となることが多い土砂災害もあります。また、大きな地震のおとは、地盤が崩れやすくなっているため、少しの雨や余震でも土砂災害が起きやすくなります。



がけ崩れ (斜面崩壊) 急な斜面が崩れる

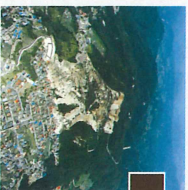
- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちで起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- すぐれた高さの2倍くらゐのところで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の前兆は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪が溶けて水が発生することもある。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 急な斜面といっしょに大地がゆっくりに動くこともある。
- 突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地盤が原因で起こる地すべりもある。



河道閉塞 (天然ダム) 崩れた土砂が川をせきとめる

- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、急や田畑が水につかる。
- 天然ダムは水がたまった水のカて一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せるとも。



がけ崩れの前ぶれ

- ① がけから小石がトバラ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面にひび割れができる。
- ④ 斜面にひび割れができる。
- ⑤ 立寄り避難が困難な時は、がけから離れた部屋や通路などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ (前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起これたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとには要注意です。

土石流の前ぶれ

- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→ 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり音がから流れてくるため。
- ② 川や沢の流がにざり、生の木が流れてくる。
→ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りかする、異常なおいがする、地鳴りかする。
→ 土流で山が崩れているため。
- ④ 雨が降り続いているのに川や沢の水が減る。
→ 上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がさまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れたところへ高い所へ逃げよう。

地すべりの前ぶれ

- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がサワサワとさわさわ、木の裂ける音や木の根が切れる音がある。
- ③ 地鳴りや山鳴りかする。
- ④ わき水が湧く。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？
がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。これらの場所は特に注意しましょう。

